

2

ボランティア活動の風を巻き起こそう

ボランティアサークル「風土熟人R」 代表：菊池眞悠子、他66名



原則6： 人々の国際市民としての意識を高める

1. 風土熟人Rの活動方針

サークル名の風土熟人Rは、「風：学生」、「土：住民」、「熟人：ネットワークや想いが熱い人」、「R」：アルファベットの18番目ということで十八番(オハコ)を表す。活動は、学生ができる支援を中心に考え、地域やそこに住む住民の方々と繋がりを持つことを目標にしている。さらに、先輩から引き継がれてきた現地支援のノウハウ、膨大な活動記録、そして熱い思いを継承し、活動する。



2. 主な活動

風土熟人Rは2007年の新潟県中越沖地震の支援を機に組織され、現在は学部を問わず66名のメンバーが活動している。主に東日本大震災で被災した地域の復興支援として、三陸の漁業支援や内陸に避難された方との交流の催しなどの活動のほかに、地域の防災訓練に運営から携わり、地域住民と一緒に防災・減災活動や、子ども食堂への参加、フードバンクの寄付呼びかけ、梱包作業などの地域貢献活動など多岐にわたっている。



3. 2020年度・県知事賞受賞とこれから

これまでの風土熟人Rの活動が評価され、岩手県社会福祉大会において2020年度・岩手県知事賞が授与された。これからも風土熟人Rの強みである、先輩から受け継がれた充実した現地支援のノウハウや、過去の災害支援を通じて培われた連携、膨大な活動記録を十分に生かして、地域に寄り添い、地域の皆さんにより親しまれるボランティア活動を推進する。

